



http://digitalarchiveproject.jp/information/匠伝承·西明寺本堂/



■龍應山西明寺略縁起

西明寺は平安時代の承和元年(834)に三修上人が、仁明天皇の勅願により開創された寺院である。

平安、鎌倉、室町の各時代を通じては祈願道場、修行道場として栄えていて山内には 17 の諸堂、300 の僧坊があったといわれている。

源頼朝が来寺して戦勝祈願をされたと伝えられている。

戦国時代に織田信長は比叡山を焼き打ちしてその直後に当寺も焼き打ちをしたが、幸に国宝第1号指定の本堂、三重塔、二天門が火難を免れ現存しているのである。

江戸時代天海大僧正、公海大僧正の尽力により、望月越中守友閑が復興され現在に至っている。

■西明寺 文化財

- 1、国宝、本堂(鎌倉時代初期、国宝第1号)
- 1、国宝、三重塔(鎌倉時代後期)
- 1、重要文化財、二天門(室町時代)
- 1、重要文化財(本堂内仏像7体)
- 1、重要文化財(十二天画像、他6点)
- 1、国指定名勝庭園(江戸時代初期)











